



いろは



“いろは”の由来

江戸時代に設置された町火消「いろは四八組」から命名しました。地域に密着した消防団を目指し、消防団についての理解を深めていただくため広報誌を作成しております。

二組合水防訓練

令和7年5月18日に、龍ヶ崎市小貝川市民運動公園で、二組合水防訓練が実施されました。当訓練は、小貝川流域の水防組合管理団体である稲敷地方広域市町村圏事務組合（構成市町で参加した市町：龍ヶ崎市、稲敷市、利根町、河内町）と利根川水系県南水防事務組合（構成市：取手市、龍ヶ崎市、つくば市、つくばみらい市、牛久市）が共催した訓練となります。近年、全国各地で発生している水害に備え、今後も水防体制の強化や訓練に努めて参ります。

霞ヶ浦地区水防訓練

令和7年6月14日に、霞ヶ浦地区水防訓練が美浦村で実施されました。当訓練は出水期を迎えるにあたり、水防体制の万全を期すため、稲敷市・美浦村・阿見町の消防団が合同で毎年実施している訓練になります。

稲敷広域消防本部
職員の指導の下、「土のう拵え工法」「改良積み土のう工法」「シート張り工法」「繋ぎ縫い工法」という各種水防工法を行いました。



ご挨拶



稲敷市消防団長
黒田 茂勝

平素より消防団活動に対し、ご理解ご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

現在、稲敷市消防団は875名が在籍し、「郷土を守る」という使命のもと、各種訓練に励み、有事の際には迅速かつ的確な対応が図れるよう万全を期しているところでございます。しかしながら、地域の安全確保は消防団のみで成し得るものではなく、住民の皆様お一人一人の防災意識の向上と日頃からの備えが不可欠でございます。

つきましては、ご家庭における火気の取扱いの徹底、避難経路の確認等、今一度防災対策の見直しをお願い申し上げます。また、各種防災訓練への積極的なご参加を通じ、地域一体となった防災力の向上にご協力賜りますようお願い申し上げます。

消防団一同、本年度も地域住民の皆様への身体、生命、財産を守るべく、なお一層精励してまいり所存でございますので、引き続き変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

結びに、皆様のご健勝とご多幸を表心よりご祈念申し上げます、年度当初のご挨拶とさせていただきます。

令和7年度活動報告

4月

第1回役員会議
分団長訓練

5月

二組合合同水防訓練

6月

霞ヶ浦地区水防訓練
稲敷市防災訓練及び
夏期訓練

7月

新入団員訓練

8月

花火大会警戒巡視

10月

第2回役員会議

11月

稲敷市文化祭
秋期訓練

12月

本部指揮訓練

1月

出初式

2月

冬期訓練

3月

妙技ノ鼻ヨシ焼き警戒

通年

水利確認、資機材点検
夜警

令和8年消防出初式

令和8年1月11日に江戸崎中央公民館で消防出初式を行いました。第1部では表彰式等の式典を行い、公民館玄関前では消防広場を開催しました。第2部では、消防署による意見発表や大船渡火災活動報告、稲敷市消防団広報委員会による活動報告が実施されました。実際に活動している写真や動画を見ていただくことで、消防団の活動を多くの方にお伝えすることができました。



日本消防協会表彰

精績章

川口 和彦

(第1方面隊 副方面隊長)

村山 旭

(第3方面隊 副方面隊長)

水飼 照夫

(第4方面隊 副方面隊長)

茨城県知事表彰

永年勤続功労章 (30年)

伊藤 奨

(第3方面隊 方面隊長)

森田 竜生

(第1方面隊 副方面隊長)

林 一徳

(第1分団7部)

小島 正儀

(第3分団3部)

木野内 誠

(第3分団4部)

石井 一也

(第8分団2部)

藤枝 勇

(第11分団2部)

橋本 貴幸

(元第7分団3部)



大船渡市火災活動報告

いなほ消防署 消防司令補 吉岡栄治

令和7年2月26日に岩手県大船渡市で発生した火災は、焼失面積約3,370haとなる昭和39年以降では最大の林野火災となりました。現場は車両が入れない道路、少ない水源という状況で、山林内を隊員が背負い式消火水のう「ジェットシューター」を使用し24時間体制で消火にあたりました。稲敷広域消防本部からは28人が出場し活動にあたりました。過酷な環境でしたが、人命と暮らしを守る使命の重さを改めて実感しました。同時に、自分たちの訓練や装備の重要性も痛感し、日頃の備えがいかに大切かを学びました。今後も経験を糧に、より迅速で安全な活動を心がけていきます。



林野火災注意報・警報

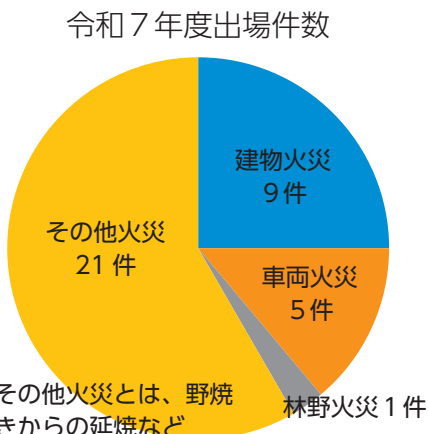
令和8年1月1日から運用が開始されました。警報が発令された場合は、火の使用の制限に従う義務が課せられ、従わない場合、**30万円以下の罰金又は拘留に処す**ことが消防法で定められています。

発令状況は、裏面稲敷市公式アプリにて確認できます。



令和7年度消防団 出場件数

消防団出場人数 延べ846名



マイナ救急

令和7年10月1日より運用が開始されました。マイナ救急とは、救急隊員が傷病者のマイナ保険証（健康保険証として利用登録したマイナンバーカード）を活用し傷病者の医療機関情報等を閲覧する仕組みのことです。このことにより、より適切な処置や搬送先が選定されるようになります。

お済でない方はご登録よろしくお願ひします。

新基準活動服

稲敷市消防団では、令和7年度より難燃ストレッチ素材を使用した活動服を支給しています。災害時、安全に活動に取り組めるよう体制を整えています。



この消防団員用活動服購入費の75%は、成田国際空港株式会社からの特別交付金を活用しております。

稲敷市の備蓄品

稲敷市では、市内31ヶ所に防災倉庫を配置しております。倉庫内には、食料・飲料水・毛布などを備蓄しており、災害により長期の避難が想定された場合に、避難者に支給します。



毛布

詳しくは市ホームページをご覧ください



消防団員による協力 金集めについて

消防団への協力金については、あくまで相手方（市民）からの寄付を受けるものであり、金額の指定や個別訪問による徴収は原則禁止となっています。

女性

women's fire brigade

消防団

全国女性消防団員活性化大会



毎年行われている全国女性消防団員活性化大会。今年は長崎県で開催されました。全国の女性消防団の日頃の活動や事例発表を聞いたり、交流をすることで稲敷市のアピールと今後の活動に生かせる有意義な大会となりました。長崎県が誇るジャパネットたかたの高田明氏の講演も聞くことが出来ました。

文化祭 in あずま生涯学習センター



消防クイズコーナーがバージョンアップ!! ストラックアウトのようにカゴに玉を入れてクイズに答えてもらい啓発品は釣りゲームで取ってもらいました。新しい試みに老若男女問わず楽しんでいただき、待ち列ができるときもありました。持ち出し品にはペット部門を追加展示し、外では消防バイクが展示され盛り上がっていました。



事務局

広報編集委員

中沢 貴弘
山崎 仁
山形 大輔
金子 哲巳
成毛 宏嘉
関谷 美子
吉村 史江
鹿内 隼人
後藤 隆太



(広報編集委員一同)

広報委員会では年に一回広報誌の発行を行っております。広報の役割は皆さんに消防団の活動を知っていただくことです。私たちはイベント等を通して活動への理解を深め、人と人のつながりを広げながら楽しんで活動しております。まずは消防団活動が面白そうと思っただけだと嬉しいですし、一年間の活動の最後が広報誌の作成になります。消防団活動に参加、応援してくださった方々、イベント等にご来場いただいた皆さまに心から感謝申し上げます。

編集後記

人と街を守るチームの一員になろう！

INASHIKI FIRE BRIGADE

稲敷市消防団

消防団員募集中



満 18 歳以上で稲敷市に在住または在勤している方なら
男性でも女性でも入団できます！

【問い合わせ先】稲敷市危機管理課 ☎ 029-892-2000



稲敷公式アプリ

無料 FREE

